

令和4年度 事業報告

京都府医学振興会は、「京都府内における医学研究に対する奨励及び助成等を行い、医療水準の向上及び地域社会の福祉の増進に寄与する。」ことを目的として、昭和61年3月に設立され、その後、府民の健康増進及び医学・医療に関する知意識の啓発普及を目指した活動も重ね、平成25年4月には公益財団法人に移行した。

令和4年度は、引き続き医学水準の向上及び地域社会の福祉の増進に寄与するため、医学研究に対する奨励及び助成等を行うとともに、医療啓蒙普及などに関する事業を行った。

また、新たに、医学、医療と連携した共生社会の実現に向けた新規プロジェクトに着手した。

【 I 公益目的事業】

【決算額 30,559,936円】

1 医学研究・教育等支援事業

(決算額 17,687,483円)

(1) 医学研究等支援事業

(決算額 2,458,040円)

医学・医療研究者の研究成果の発表の場となっている医科大学雑誌の充実を図るために支援を行った。

また、医学研究等の支援選考に係る助成委員会を開催し支援する学会等を選考した。

加えて、新たに革新的医薬品等開発支援事業を立ち上げ、広く府民に還元される医薬品や医療機器の開発に携わる府内民間企業等の開発相談に応じることとして、当該事業の広報活動を行うとともに、相談員として京都府立医科大学大学院医学研究科医療レギュラトリーサイエンス学 林 憲一教授を委嘱し対応した。(相談事案 1件)

医学研究等助成委員会開催状況

開催年月日	議 題 等	結果
令和4年9月14日	○学会等支援事業の学会選考について(2件) ① 第8回京都リハビリテーション医学会学術集会 ② 第49回日本生体電気・物理刺激研究会	承認

(2) 学会等支援事業

(決算額 10,617,200円)

京都府内で開催される学会等への支援については、助成委員会において選考された学会等に対して、企業、病院、団体及び個人から寄附金を募り、学術水準の向上を図り、京都府の医学・医療の発展に寄与するために学会等開催経費の助成を行った。

- 学会寄附金の状況 寄附受入件数 58件 8,650,000円
 ○ 学会等支援の状況 助成件数 6学会 8,217,500円

○ 令和4年度支援学会

学 会 名	参加人数(人)	開催年月日・会場	上段：開催経費 下段：助成額 (円)
1 第24回日本高齢消化器病学会総会	300人	2022.7.15～16 からすま京都ホテル	(予算額) 19,810,000 47,500
2 第20回日本機能性食品医用学会	300人	2022.12.3～4 ホテルルビノ京都堀川	(予算額) 7,850,000 1,377,500
3 がん予防学術大会2022 京都	300人	2022.7.1～2 京都学・歴彩館	(予算額) 3,302,000 1,045,000
4 第1回京都胃癌予防研究会講演会	100人	2022.6.17 TKPガーデンシティ京都タワーホテル	(予算額) 3,140,000 1,520,000
5 第8回京都リハビリテーション医学会学術集会	500人	2023.2.4～2.5 京都産業会館ホール	(予算額) 7,735,000 3,515,000
6 第49回日本生体電気・物理刺激研究会	200人	2023.2.18 京都学・歴彩館	(予算額) 4,486,000 712,500

(3) 医学教育等支援事業 (決算額 4,612,243円)

(ア) 国際交流支援事業 (決算額 397,000円)

例年、医学・医療研究者が行う海外の医学研究者との交流や大学、研究機関等との医学・医療研究に関する交流に対して、記念品の贈呈及び意見交換会の開催等に係る

経費について支援しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は開催されなかった。また、オランダのマーストリヒト大学からの京都府立医科大学 Double Degree Program 修士課程修了者も該当が無かった。

(イ) 地域医療・教育推進支援事業 (決算額 2,466,711円)

例年、京都府内において活躍が期待される医療従事者を育成することを目的に、京都府及び京都府立医科大学と当振興会が三者共同で「地域医療機関滞在型教育推進事業」を実施し、その経費の一部を支援しているが、令和4年度は前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により対象となる事業が実施されなかった。

その他に引き続き府内の医療過疎地の医師及び看護師の確保対策として、地域医療への使命感を持った医療従事者を育成し、再雇用されることを目的に、京都府立医科大学が実施する「潜在保健師・看護師リカレント教育」や府内の「災害派遣医療チーム (DMAT) への活動支援」を目的に、チームを有する5指定医療機関に対して助成を行った。

(ウ) 女性医師研究支援事業 (決算額 1,748,532円)

令和4年度も例年どおり、京都府内の医学研究に取り組む女性医師が育児、出産、介護、通院等と両立させながら、研究活動を継続できるよう、研究補助員を臨時的に雇用する経費の一部を支援した。(支援対象研究者5名)

2 医学医療、啓発普及支援事業 (決算額 8,796,170円)

(1) 医学講演会等開催事業 (決算額 6,480,750円)

京都府民・市民を対象とした、健康増進及び医学・医療に関する啓発普及のために従来、単独で「府民公開講座」を開催していたが、昨年度に引き続き京都府立医科大学等と共同で健康増進・普及啓発支援事業として講演会等を実施した。また、京都の医学・医療史の編纂広報に向けて、京都府立医科大学と協力して「療病院・医学校新史」の取りまとめについて支援を行った。

○ 最先端がん治療について啓発普及

府民に最先端の「がん治療」について知っていただくため、その代表治療例として、3年度に作成した体にやさしい陽子線治療を紹介するPR動画(「がんと陽子線治療」「陽子線治療の流れ」)を活用し、京都新聞、リビング京都及びGoogle広告等を利用した府民広報事業を実施した。

(2) 健康増進・啓発普及支援事業

(決算額 2,315,420円)

京都府立医科大学や他団体等が、健康増進及び医学・医療に関する啓発普及のために、京都府民・市民を対象として開催される講演会、シンポジウム等について、当振興会が共同開催や協力等を行うことにより健康増進に寄与した。

なお、各講演会については、京都府立医科大学創立150周年記念事業府民公開講座（教育FD除く）として実施された。

○ 支援事業の概要

事業名	主催者	支援	開催日時・概要等
「地域医療構想に基づく地域連携のあり方」	京都府立医科大学	共催 謝金等	<ul style="list-style-type: none">・令和4年5月28日 13:30～15:30・京都府立医科大学図書館ホール・ハイブリッド開催 157人参加（会場：43人、WEB：114人）（基調講演） 「地域医療構想について」 産業医科大学医学部公衆衛生学 教授 松田晋哉（トピックス）・地域完結型医療を目指したアライアンス 京都府立医科大学附属病院 病院長 夜久 均・地域基幹病院として地域での役割 京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学 教授 水野敏樹
「京都府立医科大学附属病院における小児の療養環境について」	京都府立医科大学	共催 広告掲載、謝金、ハイブリッド経費等	<ul style="list-style-type: none">・令和4年7月17日（日）14:00～16:00・京都府立医科大学図書館ホール・ハイブリッド開催 210人（会場44人、WEB166人）（基調講演） 「京都府立医科大学附属病院における小児の療養環境について」 京都府立医科大学大学院医学研究科小児科学 教授 家原知子（シンポジウム） 「ICTを用いた遠隔授業の取り組み ～長期療養者に対する遠隔授業を用いた取り組み～」 座長：京都府立医科大学大学院医学研究科 講師 今村俊彦・医師の立場から 京都府立医科大学大学院医学研究科小児科学

			<p>講師 宮地 充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医教コーディネーターの立場から 京都市立桃陽総合支援学校 高校生支援医教連携コーディネーター 篠原淳子 ・京都市立京都工学院高等学校 校長 大窪英行 <p>(特別講演)</p> <p>座長：京都府立医科大学 学長 竹中 洋</p> <p>「病気の子どもとその家族を社会で支える必要性 ～ドナルド・マクドナルド・ハウスへの期待とその役割 ～」</p> <p>公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリ ティーズ・ジャパン 理事長 五十嵐 隆</p>
「知っておきたいがん治療 陽子線治療アップデート～保険適用の対象疾患が拡大されました」	京都府立医科大学	共催 チラシ配布等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月1日(金) 18:00～19:00 ・オンライン開催 聴講者 92名 <p>(講師)</p> <p>「当院における陽子線治療の特徴と実績報告、陽子線の適用拡大について」</p> <p>京都府立医科大学大学院医学研究科 放射線診断治療学 助教 相部則博</p>
「脳・血管系老化研究センター30年の歩み」について	京都府立医科大学	共催 会場設営費等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年9月11日(日) 14:00～16:30 ・京都府立京都学・歴彩館 ・ハイブリッド開催(会場：60人、WEB：169名) <p>(講演)</p> <p>座長：病態病理学部門 教授 伊東恭子</p> <p>「基礎研究から治療へ～脳をきれいにして病気の予防～」</p> <p>基礎老化学部門 講師 渡邊義久</p> <p>「加齢と脳の変化～顕微鏡をつかってわかること～」</p> <p>病態病理学部門 准教授 宍戸由紀子</p> <p>「自粛生活と健康問題～血流マネジメントによるアンチエイジング～」</p> <p>社会医学・人文科学部門 講師 小山晃英</p> <p>「血管から脳を護る～認知症を防ぐには～」</p> <p>神経内科学部門 教授 水野敏樹</p>
(教育FD) 医学教育ファカルティディベロップメント2023冬	京都府立医科大学	謝金等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年2月24日 18:00～19:00 ・京都府立医科大学図書館ホール ・参加者：約200名 <p>(講師)</p> <p>国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター 准教授 押味孝之</p>

3 寄附財産資産管理事業

(決算額 4,076,283円)

故松本夫妻の寄附資産の不動産等を管理するとともに、5年度の売却に向けて敷地の境界確定を行った。

松本夫妻 医学振興会寄附資産一覧 (R5.3.31時点)

(単位：円)

	夫妻分 寄附累計額(A)+(B)	瓊子氏寄附資産分	仁介氏当初寄附分 (B)	仁介氏寄附資産 現在高(C)	夫妻寄附資産 現在高(A)+(C)
現金	252,179,995	127,748,073	124,431,922	124,431,922	252,179,995
(生保) R3.10.4受領	50,039,164	50,039,164	0	0	50,039,164
R3.11.17受領	77,708,909	77,708,909	0	0	77,708,909
H26.7.25受領	9,350,904	0	9,350,904	9,350,904	9,350,904
H26.3.10受領	115,081,018	0	115,081,018	115,081,018	115,081,018
土地 R3.11.4受領	94,581,475	94,581,475	0	0	94,581,475
H26.3.6受領	102,713,682	0	102,713,682	102,713,682	102,713,682
建物 R3.11.4受領	7,530,200	7,530,200	0	0	7,530,200
H26.3.6受領	4,724,700	0	4,724,700	2,598,585	2,598,585
合計	461,730,052	229,859,748	231,870,304	229,744,189	459,603,937

【Ⅱ その他の事業】

【決算額 7,579,777円】

1 「学術雑誌」の発行・会員等への配付事業

(決算額 2,934,774円)

明治30年以降、会員の原稿を基に刊行されている医学研究誌「京都府立医科大学雑誌」の発行を受託して会員等に配布した。

① 発行回数等 毎月25日発行 年間12号

② 配布先

区 分	年間配付延べ部数	月平均配付部数
普通会員	8,283	690
賛助会員	1,450	120
他大学等図書館	529	44
法人団体	478	39
広告会社	52	4
その他	1,074	89
合 計	11,866	986

③ 掲載内容

区 分	年間件数	区 分	年間件数
総説・原著	11	集談会抄録	94

症例報告	2	博士論文要旨	97
部門紹介	10	特集	32
病院だより	17	その他	54
		合計	317

2 学術情報（医学）提供事業（決算額 3,846,797円）

京都府の地域医療水準の向上並びに医学研究の発展に資することを目的に、本事業に加入の京都府立医科大学関係病院等協議会及び京都府医療センターに加入の病院や診療所等の医療従事者に対し、京都府立医科大学附属図書館と共同で同図書館、他大学等図書館などが所蔵する医学に関する学術情報を提供するとともに医学学術情報支援データベースの購入を支援した。

① 会員の状況

区 分		会員数
3年度からの継続会員数		62病院
4年度	新規加入会員数	0病院
	退会会員数	2病院
合計		60病院

② 医学学術情報の提供件数等

区 分	提供件数等	提供コピー枚数
附属図書館所蔵の学術情報	744件	2,945枚
学外図書館所蔵の学術情報	178件	792枚
合計	922件	3,737枚

③ 医学学術情報支援データベース

- ・メディカルオンライン

3 医学教育（解剖）支援事業（決算額 798,206円）

解剖による医学教育は、医師の養成、死因の原因追究、病因の病態解明など医学・医療の進歩、発展に不可欠で、ご遺族に献体を要請している。

このため、医学研究者、医学生等の関係者による納骨式、追悼式を開催した。

なお、例年5月に開催する春季追悼式（納骨法要）については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、大学墓地への納骨者のご遺族のみの参列とし、学生の参列を見合わせるなど、規模を縮小の上、実施した。

また、10月の秋季追悼式についても看護学科の学生については代表を除き、京都府立医科大学看護学舎でのライブ配信での視聴参加とするなど参加者を制限し実施した。

加えて、大日山共同墓地に大学墓地の場所が参列者に分かるよう案内立て看板を設置

した。

区分	開催日時	場 所	参列者数		納骨・解剖件数	
春季	平成4年 5月21日(土) 午後2時～3時	安養寺 (左京区 栗田口)	遺族	11名	納骨	8体
			教職員等	26名		
			計	37名	計	8体
秋季	令和4年 10月22日(土) 午後2時～3時	西本願寺 御影堂	遺族	112名	病理解剖	17体
			教職員等	47名	系統解剖	28体
			学部学生等	216名	法医解剖	172体
			計	375名	計	217体

【Ⅲ 法人活動】

【決算額 8,557,536円】

1 役員等の異動（再任は除く）

（1）理事

（令和4年6月20日付）

就任 四辻直樹 （京都府医学振興会事務局長）

退任 上岡和弘 （京都府医学振興会事務局長）

2 会議等

（1）理事会

開催年月日	議 題 等	結果
令和4年6月2日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度事業報告及び収支決算について ○事務局長の交代及び理事の交代について ○令和4年度定時評議員会の招集及び提出議案について ○報告事項 ドナルド・マクドナルド・ハウスの概要 理事長、副理事長及び常務理事の職務の状況について 	可決 可決 可決
令和4年6月20日 (書面開催)	<ul style="list-style-type: none"> ○常務理事の選任について 	可決
令和5年3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度収支予算の補正について ○特定費用準備資金の繰入及び令和4年度の取崩しについて ○令和5年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて ○報告事項 理事長、副理事長及び常務理事の職務の状況について 	可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催年月日	議 題 等	結果
令和4年4月19日 (臨時)	○定款の一部変更について ○報告事項 ・令和4年度事業計画、収支予算について	可決
令和4年6月20日	○理事の選任について ○令和3年度事業報告及び収支決算について ○報告事項 ・令和4年度事業計画、収支予算について ・令和4年度事業の進捗状況について	可決 可決

3 会員の状況

区 分		普通会員	賛助会員	合 計
継 続 会 員 数		699	121	820
新 規 会 員 数		39	0	39
退 会 会 員 数		18	0	18
合 計		720	121	841
内 訳	会費納入済会員	544	120	664
	会員継続意思確認中会員	176	1	177

4 法人事業 (決算額 990,000円)

長年にわたり、当法人に対して多大な寄附をされてきた故松本ご夫妻の功績を称えるため、顕彰の位置づけで、松本御夫妻の生い立ち、起業、事業の成功、そして社会貢献という激動の人生を後世にも残るような形で文章としてまとめた。(冊子の作成・配布は5年度事業として実施予定)